

視聴覚教育

NO. 369

発行日

23. 1. 25

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

『HDMI』

主にレコーダーからデジタルの映像信号をテレビに伝送するための規格。映像だけでなく、デジタル音声やデジタル制御信号も含まれているので、一本のケーブルで、映像、音声、そしてテレビとレコーダー間での制御信号を伝送することができる。

Think Globally' Act Locally

現職研修委員会学習情報部長 近藤博之

二期期が始まってすぐ、本校のコンピュータ教室のパソコンが新しくなりました。更新されたパソコンは一段と動きがスムーズになっただけでなく、ディスプレイがワイドになり、画像も鮮明でも見やすくなりました。また、画面がタッチパネルで、指先だけで簡単に操作できるようなっています。パソコンは新しくなるたびに、子供たちにとってどんどん親しみやすいものになっていきます。

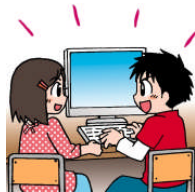
情報機器の進歩とともにネットワーク社会はますます充実、発展しています。今やパソコンや携帯電話が手元にあるだけで、どこにいてもクリックするとたちどころに必要な情報を手に入れることが可能になってきました。これまでは手に行き届かぬ情報が、簡単に手に入ることも・どこでも・だれにでも、簡単に手に入る事ができる時代になってきました。

最近「Think Globally' Act Locally.」という言葉をよく耳にするようになりました。この現代社会に生きていく私たちは、世界の隅々の出来事にまで目を遣り、未来をも見通す幅広い

視野から物事を考え判断する必要性があるということを意味する言葉です。と同時に、自分が生活している地域にしっかりと足をおろし、地道に自分がなすべきことをしていかなければならないことも意味していると思っています。

衣・食・住などの毎日の生活でさえ、世界中の出来事が密接にかかわってくるようになった現代社会。周辺との関わりをもたなくても、自分の興味関心だけに埋没して生活できってしまう現代社会。この言葉は、そんな矛盾に満ち溢れた現代社会を、健全な社会人として生き抜いていくキーワードの一つになっています。

情報化の進展によって、これまでの読み書き計算に加え、学校教育の基本的なリテラシーとして、パソコンなどの操作の習熟は不可欠です。さらには、現代社会が抱えている諸課題の解決にむけて、地道で確かな活動のできる社会力のある人間の育成も要請されています。得られた情報などを実践の中で有効に活用できる「情報活用能力」を育成していく場を、積極的に取り入れていく必要性を強く感じています。



Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

○ 新規購入DVD教材の紹介

新規購入DVD教材を紹介いたします。ここに紹介した作品以外にもあります。詳細については視聴覚ライブラリーのホームページをご覧ください。

「やってみよう 水泳 1〜2巻」

(小・中学生対象 各巻20分)

「コミュニケーションして楽しいね1〜3巻」

(小・中学生対象 各巻15分)

「道徳ドキュメント 1〜3巻」

(小学生対象 各巻45分)

「ネットいじめに向き合うために」

(小・中学生・高校生対象 30分)

「毎日がつらい気持ち分かりますか」

ゆるせない! ネットいじめ」

(小・中学生対象 18分)

「子どもどうぶつ劇場 1〜3巻」

(幼・保・小・中学生対象 各30分)

「NHKスペシャル 驚異の小宇宙 1〜18巻」

(小・中学生・高校生・一般対象 50〜59分)

「プロフェッショナル仕事の流儀IV 全10巻」

「プロフェッショナル仕事の流儀V 全10巻」

(小・中学生・高校生・一般対象 43分)

「にしまきかやこ作品シリーズ 1〜2巻」

(幼・保・小学生対象 約30分)

「宮西達也シリーズ 1〜2巻」

(幼・保・小学生対象 25分)



実践報告 II

身近な企業の意外な環境活動を調べよう

葵中学校 服部 将也

総合的な学習の時間に、環境学習でパソコンを使った調べ学習と発表を行った。

まず個人でインターネットを使い、調べてみたい身近な企業、例えば、親が勤めている企業、職場体験でお世話になった企業、身の回りの物を作っている企業などの環境活動を自由に調べさせた。その後、個人発表のため、ワードを使って発表用資料の作成をさせた。インターネットの文章をワードに貼り付け、文字の大きさの変更、文章を厳選していく作業などでは、生徒同士で学び合わせることで互いのパソコン操作技術の向上を図るために、教師は直接個人指導せず、全体指導に徹した。

最後にクラス全員の前で発表する場面では、発表形式も生徒に自由に考えさせる場を設けた。プリントアウトした用紙を書画カメラを使い、大型ディスプレイに写し出し説明する生徒、スカイメニューを使って自分のパソコンの画面を全員のパソコンに送信し説明する生徒、電子黒板を使って、重要な部分にペンで記入しながら説明する生徒など、様々な発表が見られた。この発表によって個人で調べた内容を全体で共有することができ、学びを深めることができた。



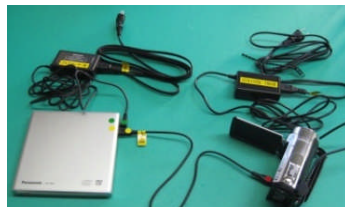
II レッツ・トライ II

「DVDバーナー」

現在、DVカメラの記憶媒体は、DVテープから本体の内蔵メモリやSDカードなどに変わった。そこで問題になるのは、撮影した映像の管理方法である。撮影した映像を別の記録媒体に移していかないとやがて容量を超えてしまうので、別の記憶媒体に移す必要がある。その際パソコンに接続して付属のソフトを使うことが多いが、それは少し敷居が高い感も否めない。

そこで、本校ではビデオカメラと同じメーカーの「DVDバーナー」を購入した。カメラとDVDバーナーを付属のケーブルでつなぎ、カメラの画面に従って操作すると、パソコンを使わなくても映像をDVD-Rなどにコピーすることができる。「標準モード」でコピーすれば、教室のDVDプレーヤーなど、一般のプレーヤーで再生することもできる。

もちろん、パソコンに取り込んだ方が、映像の活用の幅はぐんと広がるが、だれもが簡単にコピーできるといふ点においては有効な機器だといえる。ただ、DVDバーナーを使って「標準モード」でコピーすると、三〇分程度の映像を処理するのに一時間以上かかってしまう。これが欠点であるが、今後のテーププレス化の流れの中では、便利な機器である。



(愛宕小学校学習情報主任 高瀬 玲子)

ライブライブラリーだよ

岡崎市内の全小中学校に50インチの大型ディスプレイ、ノートパソコン等が設置されています。岡崎市視聴覚ライブラリーから発行されている『視聴覚教材・機器利用の手引き』には、コンピュータ教材や視聴覚機器を利用した授業の実践例が掲載されています。どのように視聴覚機器・教材を利用したらいいか困っている方は、ぜひご一読ください。

また、岡崎市視聴覚ライブラリーには、たくさんのビデオ教材や効果音、機材があります。これらは、直接視聴覚ライブライリーのホームページから予約をすることが出来ます。教材のみ、申請画面の「利用目的」欄に「授業(メール便希望)」と打ち込むと交換メール便で配達されます。教材は『視聴覚教材・機器利用の手引き』に一覧が掲載されています。インターネットで検索することも可能です。ぜひ活用してください。

※インターネット予約には、各学校に配布されている(学習情報主任の先生に配布してあります)IDとパスワードが必要です。

※貸出期間は貸出・返却日を含んだ7日以内です。